<table>
<thead>
<tr>
<th>採取場所</th>
<th>福島第一 物揚場前海水 **</th>
<th>福島第一 ①号機取水口内側海水（東波除接海水）</th>
<th>福島第一 ②号機取水口内側海水（通水壁面）</th>
<th>福島第一 ②号機取水口前海水**</th>
<th>福島第一 港湾內 **</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>試料採取日時刻</td>
<td>続日 月日時分</td>
<td>対象外</td>
<td>続日 月日時分</td>
<td>続日 月日時分</td>
<td>続日 月日時分</td>
</tr>
<tr>
<td>検出核種:半減期</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
</tr>
<tr>
<td>①種類</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
</tr>
<tr>
<td>②種類</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
</tr>
<tr>
<td>③種類</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
<td>□試料濃度 (Kbq/L) 倍率</td>
</tr>
</tbody>
</table>

** 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度値に対する倍率の総和を 1 と比較する。
□ ②号機の測定値未満を示し、( ) 内に検出限界値を示す。
* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の安全及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限界
(別表第 2 第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限界 [本表では、□□□□の表記を□□□□に換算した値を記載] )
** 物揚場は、シルトフェンス閉鎖を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施
■号機取水口、港湾内は、一回／週の頻度でサンプリング実施（港湾内：シルトフェンスの閉鎖を行った日にもサンプリングを実施）
福島第一 物揚場前海水放射能濃度（Bq/L）

- I-131
- Cs-134
- Cs-137

12/27
1/23
3/1,2  暴天候により採取中止
福島第一 1〜4号機取水口内北側海水（東波除堤北側）放射能濃度（Bq/L）

12/27
1/23
3/1,2 恶天候により採取中止
福島第一 1〜4号機取水口内南側（遮水壁前）海水放射能濃度（Bq/L）

12/27
1/23
3/1.2 悪天候により採取中止

Cs-137告示濃度
60 Bq/L

Cs-134告示濃度
60 Bq/L

I-131告示濃度
60 Bq/L
福島第一 6号機取水口前海水放射能濃度 (Bq/L)
福島第一 港湾口海水放射能濃度 (Bq/L)
福島第一 港湾内 海水核種分析結果 < 再測定 >

(データ集約：□□□)

<table>
<thead>
<tr>
<th>採取場所</th>
<th>福島第一 港湾口</th>
<th></th>
</tr>
</thead>
</table>
| 試料採取日時刻 | □□□□年□月□日□時□分 | □ 告示濃度限度 □
| 検出核種 | □ 試料濃度 | 倍率 | □ |
| 半減期 2 | | | |

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>□□□□年□月□日□時□分</th>
<th>□□□□年□月□日□時□分</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>□□□□年□月□日□時□分</td>
<td>□□□□年□月□日□時□分</td>
</tr>
</tbody>
</table>

* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度（別表第２第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度 [本表では、□□□□の表記を□□□□に換算した値を記載 ]）

□ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。
□ □□□□は検出限界値未満を表し、（ ）内に検出限界値を示す。
□ 詳細分析（リンプロピデン酸アンモニウム吸着捕集法）による分析結果を記載
□ 分析機関：(財)九州環境管理協会